

—ひと・もの・まちをつなぐ—

鉄道技術展・大阪

Mass-Trans Innovation Japan Osaka 2022

プレスリリース

令和4年4月1日

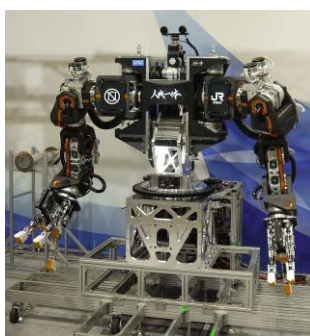
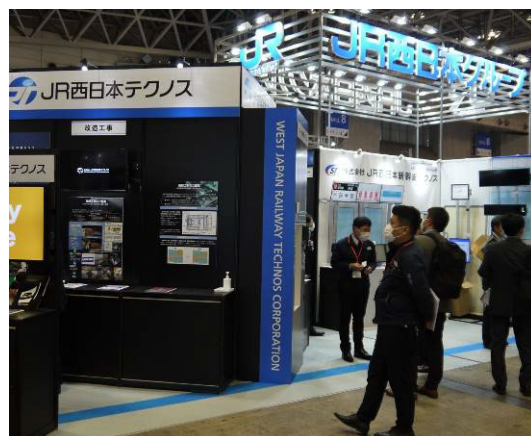
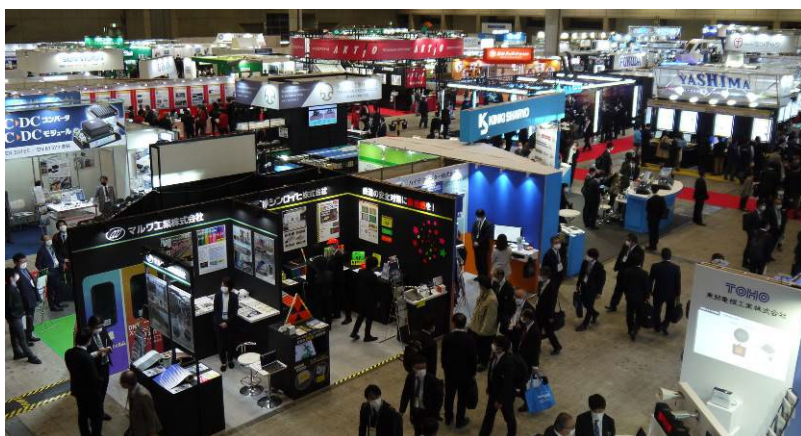
報道関係各位

産経新聞社／株式会社シー・エヌ・ティ

関西鉄道事業者7社が特別協力！大阪で初の開催！
鉄道技術に特化した国内最大規模のB2Bイベント
安全・安心・快適・環境・省エネを追求した鉄道ビジネス展示会
「鉄道技術展 大阪」

5月25日（水）～5月27日（金）
インテックス大阪（4・5号館）にて開催

産経新聞社（東京都千代田区大手町／代表取締役社長 飯塚 浩彦）主催、株式会社シー・エヌ・ティ（東京都千代田区神田須田町／代表取締役社長 田中 雄治）共催で、安全・安心・快適・環境・省エネを追求した国内唯一の鉄道技術展示会「鉄道技術展 大阪」をインテックス大阪（4・5号館）において5月25日（水）より5月27日（金）までの3日間で開催します。



幕張メッセ開催風景（2021年11月）

「鉄道技術展」は、鉄道・交通システムやインフラ技術、施設、電力、輸送、運行管理、車両、インテリア、旅客サービス関連他あらゆる鉄道分野の技術が横断的に会する総合見本市として、2010年より幕張メッセ（千葉県千葉市）にて開催しています。

「鉄道技術展・大阪」は、西日本方面でも製品、情報を紹介したいという多くの企業の声にお応えしようと開催が決定しました。これまで幕張まで足を延ばすことができなかった西日本方面の鉄道事業者をはじめとする関係の方々にとっても、新しい情報を入手する絶好の機会として有意義な展示会になると考えています。

—ひと・もの・まちをつなぐ—

鉄道技術展・大阪

Mass-Trans Innovation Japan Osaka 2022

開催概要

- ◇開催名： 鉄道技術展 大阪
Mass-Trans Innovation Japan Osaka 2022
- ◇会期： 2022年5月25日（水）～27日（金）10：00～17：00
- ◇会場： インテックス大阪（4・5号館）
- ◇入場料： 2,000円（ただし招待券持参者・インターネットからの事前登録者は無料）
- ◇主催： 産経新聞社
- ◇共催： 株式会社シー・エヌ・ティ
- ◇後援： 国土交通省近畿運輸局／大阪府／大阪市／大阪商工会議所
- ◇特別協力： 西日本旅客鉄道株式会社
大阪市高速電気軌道株式会社
近畿日本鉄道株式会社
南海電気鉄道株式会社
京阪電気鉄道株式会社
阪急電鉄株式会社
阪神電気鉄道株式会社
- ◇出展規模： 268社・団体（554小間）
- ◇併催事業： 別紙資料（併催事業一例（予定））を参照ください。

鉄道技術展は、出展者・来場者・関係者皆様の健康と安全の確保を最優先に、感染予防対策（マスクの着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスの確保、他）を講じて開催いたします。

展示会全般の問合せ先（一般の問い合わせ先）

事務局 株式会社シー・エヌ・ティ

鉄道技術展 大阪 担当：吉田

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3-4F

Tel.03-5297-8855 Fax.03-5294-0909

E-mail：info2022@mtij.jp

鉄道技術展 大阪 <http://www.mtij.jp/osaka/>

以上

本ニュース配信、取材に関する問い合わせは下記までお願いします

報道関係者様 問い合わせ先（プレス受付）担当：松永

TEL 03-3261-8981 FAX 03-3261-8983

E-mail：pp-matsu@x.age.ne.jp

開催期間中の連絡先 090-3082-6947

鉄道技術展・大阪

Mass-Trans Innovation Japan Osaka 2022

鉄道技術展 大阪 2022年5月25日(水)～27日(金) 併催事業一例(予定)

基調講演

国土交通省 大臣官房技術審議官 奥田 薫 氏

特別講演／アフターコロナを見据えた鉄道事業者の攻めの戦略

「めざす未来に向けた JR 西日本グループの技術戦略」

西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長兼執行役員 鉄道本部長 緒方 文人 氏

人口減少、自然災害の激甚化、お客様の行動変容等、経営環境が大きく変化していく中、JR西日本グループでは「技術による変革」により、持続的に価値を提供し続けるための事業構造改革、新たな価値を創造し変化対応力を高める企業改革を推進しています。本講演では、めざす未来に向けたJR西日本グループの技術戦略を紹介します。

「次世代の鉄道と沿線まちづくり」

阪急電鉄株式会社 専務取締役 都市交通事業本部長 上村 正美 氏

公共交通による移動需要が減少する中、鉄道は新たな変革が求められていますが、デジタル化やMaaSなど新しい概念への挑戦が不可欠です。一方、SDGsを目指した持続可能な社会の実現の観点から、鉄道を中心としたまちづくりは一層重要となります。本講演では、沿線と連携し、魅力ある鉄道・まちづくりを目指していくための戦略を語ります。

「選ばれる近鉄」に向けた戦略・取り組み

近畿日本鉄道(株) 取締役常務執行役員 鉄道本部副本部長 安東 隆昭 氏

沿線人口減少、少子高齢化の進行および新しい行動様式の定着による通勤需要減少を踏まえ、当社は「乗りたい」「住みたい」と選んでいただくために様々な施策を進めております。本講演では、単なる移動手段としての鉄道ではなく、乗ること自体が楽しみとなる「新しい鉄道の旅」の提供等、「選ばれる近鉄」の実現に向けた戦略および技術面の具体的な取り組み事例についてご紹介いたします。

「大阪ならではの都市型 MaaS の構築」

大阪市高速電気軌道(株)(Osaka Metro) 常務取締役 交通事業本部長 堀 元治 氏

当社では、「交通を核にした生活まちづくり」の実現のため、「都市型 MaaS 構想」の下、鉄道やバス、オンデマンドバスなど様々な移動手段をつなぎ、圧倒的に便利で快適な交通網を整備すると共に、様々な企業・組織との連携により、新たな移動価値やサービスの提供を目指しています。本講演では、当社が考える「都市型 MaaS 構想」と具体的な取り組みをご紹介します。

第8回レイルウェイ・デザイナーズイブニング

心地よさをデザインする — 鉄道と織物 —

総合司会：久野 知美 氏 (ホリプロ)

《第1部》

キーノートスピーチ：近畿車輛株式会社 上席執行役員 南井 健治 氏

プレゼンテーション：株式会社龍村美術織物 代表取締役会長 龍村 旻 氏

住江織物株式会社 車両内装資材事業部 車両開発部

デザイングループ 部長 島津 邦康 氏

総括：月影デザインコンサルティング 代表 山田 晃三 氏

《第2部》

鉄道車両デザイン研究会 (RDA)

プレゼンテーション：(一社) 日本鉄道車輛工業会

《第3部》 情報交流会

※上記内容の日程、時間等の詳細はサイトにてご確認ください。予定は変更になる場合があります。一般の方の参加登録は「鉄道技術展・大阪」公式 Web サイトより承ります。(4月下旬頃 開始予定)

以上